

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | ハッピーテラス吉川教室 | | 公表日 令和7年2月28日 | | | |
|----------|-------------|--|---------------|---------|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100% | 0% | 指導訓練室は64.17㎡あり、十分なスペースを確保している。相談室などは部屋を分けている。 | 引きつづき、利用人数に応じたスペースを確保しながら、改善も行っていく。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 100% | 0% | 常に人員欠如の無いようにシフト作成を行っている。又、いざという時の為に、その他従業員の配置をしている。 | 引きつづき、配置基準を遵守しながら受け入れを行っていく。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 100% | 0% | 持ち物を入れる場所、靴箱は十分な数を用意している。段差は無くバリアフリーの状態になっている。 | 今後も必要に応じて、工夫・改善を行っている。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 100% | 0% | 就業時もしくは毎朝の清掃・消毒を実施している。又、週1回の清掃日を取り入れて窓の掃除や出入り口の拭き掃除を実施。 | 一部、保護者の声に伴い週1回の清掃日を選定した。今後、清掃の幅を広げていく。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 100% | 0% | 相談室の小部屋を常時、利用出来るようにしている。 | 子供の様子や状況により場所の提供、活用を行っていく。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 80% | 20% | 管理者含む、一部社員の参加 | 今後、全スタッフの参加を促す |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | 頂いたご意見は、スタッフ全員で共有し改善策を検討して対応しています。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | 毎日の振り返り（ミーティング）の中での意見を都度取り入れている。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0% | 100% | 体制不十分な部分がある為、第三者機関による外部評価は行っていません。 | 今後、体制が整い次第に第三者評価を検討していく。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | 0% | 本部主催の研修制度やzoomミーティングに参加している。 | 今後、全スタッフの参加を促していく。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 50% | 50% | 支援プログラムの作成はあるが、公表はしていない。 | 令和7年3月公表予定 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 100% | 0% | アセスメントシートを活用して、分析を行い。保護者面談の際に、ニーズの確認をして目標作成をしている。 | 引き続き適切な目標設定が出来るよう保護者や他機関との連携に努めます。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | 0% | ケース会議などでスタッフ全員で意見を出し合い作成を行っている。 | きめ細かな意見を取り入れるべき、ミーティングを多く取り入れて行きます。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | システムの支援計画の評価を全スタッフが閲覧できるので、確認をしながら支援を実施。 | 今後も最善の支援が出来るよう努めます。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100% | 0% | ハッピーテラスのツールを元に様々な視点で適応行動の状況確認に努めています。 | 今後、色々なツールの模索を行って参ります。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | 0% | アセスメントシートや保護者面談、支援の評価を元に各項目に対して支援内容を設定している。 | 今後も定期的に保護者からの聞き取りやアセスメントを行い、より具体的な支援内容を設定していきます。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100% | 0% | 個別・集団トレーニング共にメイン的な立案は担当者がしているが、全スタッフとともに各自の立案も取り入れて実施している。 | 今後も全スタッフにて楽しいトレーニングを提供できるように努めていく。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100% | 0% | 週間・月間テーマを元に固定化しないよう工夫を行っている。 | 引き続き固定化しないよう努めて参ります。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|------|---|--|---------------------------------------|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 100% | 0% | 保護者での面談の中で、集団・個別の詳細な事の打ち合わせを行い、適切な支援を検討している。 | 今後も引き続き、保護者との面談を密に行い目標の設定をしていく。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100% | 0% | 毎朝の朝礼にて、出席する児童についての打ち合わせを行い、確認事項の共有を行っている。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 100% | 0% | 毎日、終礼を行い、その日の支援内容や出来事等の共有を行っている。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100% | 0% | 社内ツールを活用して、記録を残している。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | 0% | 3か月に一度の振り返りを行い、6ヶ月に一度は児童発達支援管理責任者が中心となりケース会議を行い、計画の見直しをしている。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 100% | 0% | 4つの活動に配慮した支援を立案しています。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 100% | 0% | 全てのトレーニングに於いて、各児童の選択を尊重しており、保護者との連携を図っている。 | 今後も引き続き、児童の意思を尊重し、自己決定の機会を設定していく。 |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | 0% | 児童発達支援管理責任者やスタッフリーダーが参加している。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100% | 0% | 相談支援事業所や支援員との連携は都度行っています。学校との連携も保護者同意の上で行っています。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 100% | 0% | 送迎を行っていない為、保護者からの依頼があった場合のみ行っている状況です。 | 必要に応じて適切に情報の共有を行って参ります。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 100% | 0% | 必要に応じて情報共有をして、相互理解をしている。 | 今後は状況に応じて支援の把握に努めます。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 0% | 100% | まだ 該当者がいません。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 100% | 0% | 常時、情報共有を行っており、指導や助言を受けている。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 0% | 100% | 現在、地域での児童交流は行っておりません。 | 今後、体制が整い次第で検討をしていきます。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 100% | 0% | 市内に於ける 協議会には参加しています。 | 今後は県主催の協議会にも積極的に参加していきます。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100% | 0% | トレーニング後のフィードバックにて共通の理解を図っています。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 50% | 50% | フィードバックの際に、必要に応じてアドバイス・対策をして、情報共有を行っていません。研修は特に行っておりません。 | 今後、体制が整い次第に研修なども検討して参ります。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | 0% | 契約時に、文書を提示した上で口頭の説明を行っています。支援プログラムについては詳細は支援計画書の作成時に説明しています。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0% | 保護者面談を通じて、ニーズを確認しつつ、支援内容が子供の発達段階にあっているのかを検討。 | 子供ファーストな支援内容を意識して設定をしていくことを意識してまいります。 |
| 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100% | 0% | 契約時、定期的な面談時に支援計画の沿って内容の説明を行い、同意を得ています。 | 個別計画書の内容に変更などがある場合は、都度説明を行っています。 | |
| 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | 0% | 必要に応じて ご相談に対応はしています。一亭の範囲内での助言はさせて頂いています。 | 今後、必要に応じて他機関の紹介なども行っていけたらと考えています。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|------|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 0% | 100% | 父母会や保護者会の開催はしておりません。保護者同志での交流につきましても教室サイドでは行っておりません。 | 予定はありませんが、保護者からの開催依頼がありましたら検討させていただきます。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | 0% | 相談事項やクレームがあった場合はスタッフ間で共有して対応方法の検討を行っています。 | 今後も迅速な対応を心掛けてまいります。 |
| | 42 | 定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | 0% | 定期的にハッピーテラス通信の発行をしています。 | 今後はH.Pを活用したり、SNSなども取り組んで参ります。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | 個人情報は全て、鍵付きの書庫に保管しております。 | 引き続き、個人情報の取り扱いには細心の注意を払って参ります。 |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100% | 0% | 活動の見通しが持てるように、スケジュールのわかるボードを利用しています。 | 各児童・保護者に合わせた情報の提供に努めて参ります。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 100% | 0% | 地域住民を招待する事はありませんが、地元市議会からの見学は行っており、地元の理解を深める事を行っています。 | 今後、要望があり次第で対応をさせていただきます。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100% | 0% | 各種マニュアルを事業所に設置して周知、訓練を実施しています。 | 定期的に職員内での共有を図ってまいります。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100% | 0% | 業務継続計画を策定して年2回、火災や地震などを想定して訓練を行っています。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 100% | 0% | 契約時に保護者に確認を行っています。内容に変更や変化があった場合は、その都度の申告をお願いしております。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 0% | 100% | 食事の提供はありませんがアレルギーがある場合は契約時に申告して頂いております。各スタッフが申告について把握をしています。 | 今後も引き続き行って参ります。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100% | 0% | 安全計画の作成、訓練を実施しています。 | 引き続き、実施してまいります。 |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100% | 0% | 災害時・緊急時などの連絡手段の確保など積極的に行っています。 | 引き続き、実施してまいります。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100% | 0% | ヒヤリハットがあった場合には、その都度ミーティングを行いスタッフ全員で共有して対応策を検討しております。 | 引き続き、再発の防止に努めて参ります。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | 0% | 社内研修を行っています。 | 今後は外部研修にも参加して参ります。又、虐待防止に努めて参ります。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100% | 0% | 社内での検討会議をもとに身体拘束解除に向けた支援計画を立案、保護者へ説明して同意を得ています。 | 引き続き、身体拘束解除に向けた支援目標に取り組んで参ります。 | |